

# 第3回環境経営格付評価 結果に見る傾向

2005年3月

NPO法人環境経営学会  
環境経営格付機構

# 環境経営格付け評価

## — 目的、狙い —

- 持続可能な社会の実現に貢献する
- 持続的発展可能な経営の
- 実行と
- その程度を測る

# 環境経営格付け評価

## — 目的、狙い —

- 持続可能な社会の実現に貢献する
- 持続的発展可能な経営の
- 実行と
- その程度を測る

# 環境経営格付け評価システム

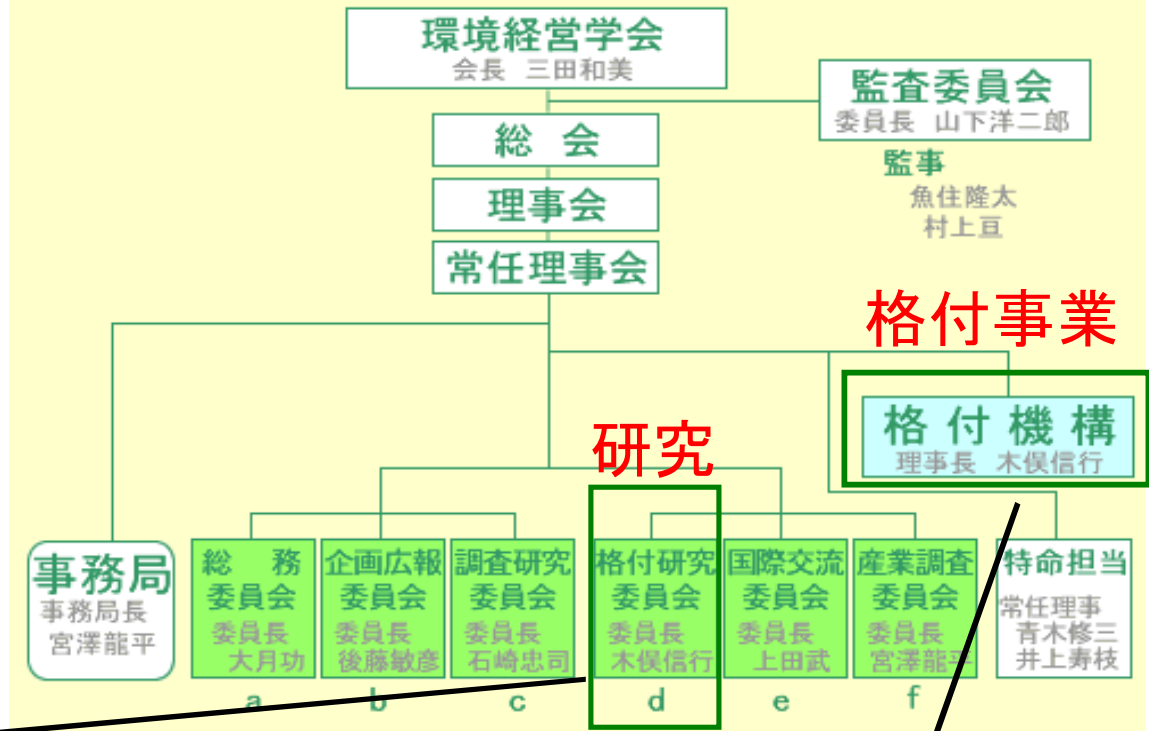
## 評価の方法

# **RaSM**

## **Rating System for Sustainable Management**

# S M F の組織と事業内容

■ 2004年度環境経営学会組織図



## ■ 事業内容

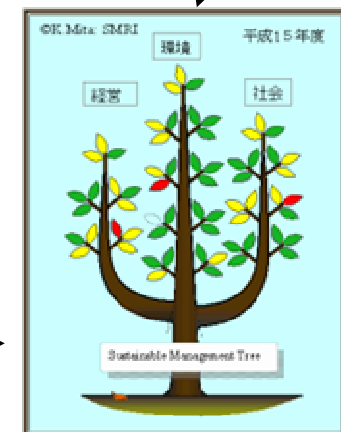
### 1. 学術研究事業

- ・環境経営格付けに関する調査研究(理論)
- ・環境経営に関する学会誌(サステイナブルマネジメント)の発行

### 2. イベント・シンポジウム事業

### 3. 環境経営(サステナブルマネジメント)格付事業

- ・第三回 環境経営(サステナブルマネジメント)格付 → 今年
- ・第二回 環境経営格付
- ・第一回 環境経営格付



# 格付評価実施の実態

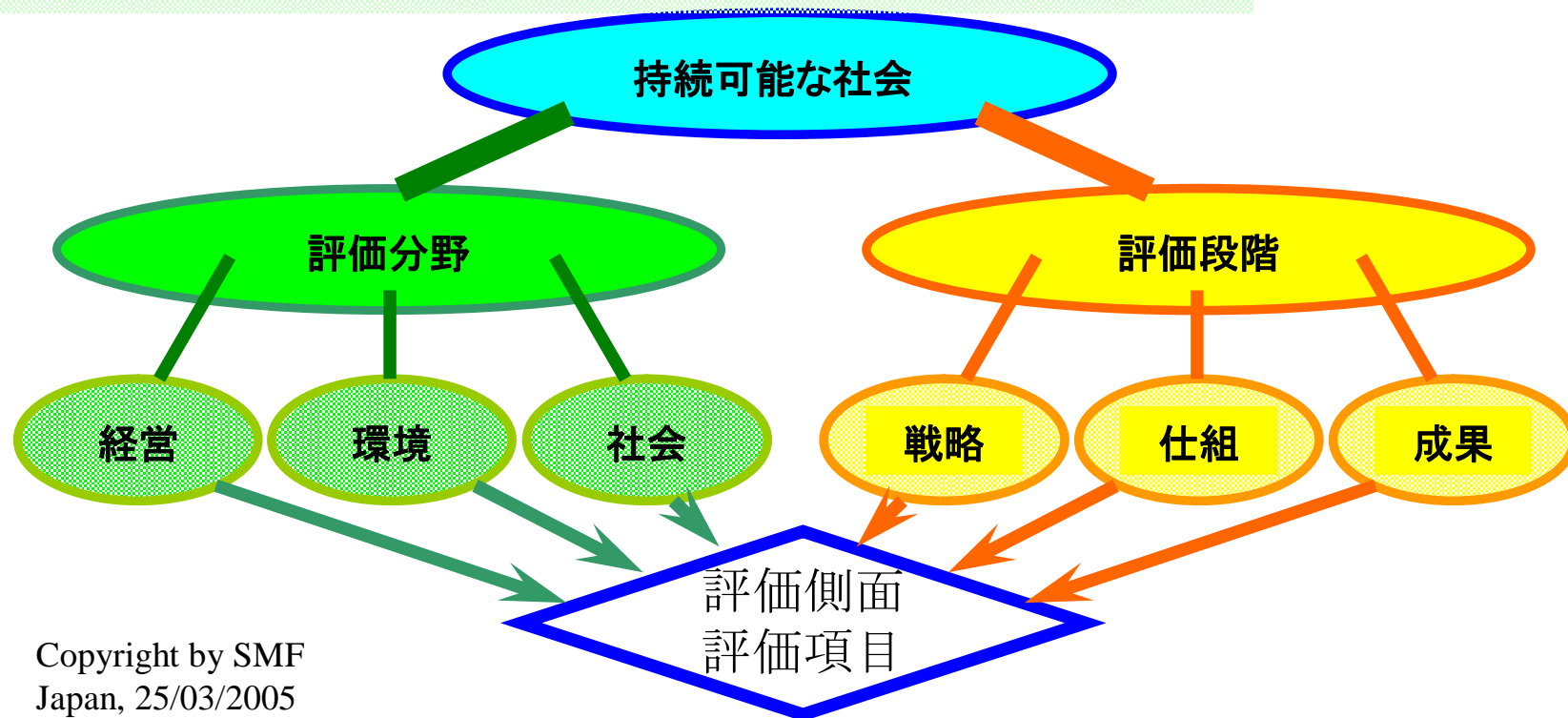
- **組織態勢**（ボランティア活動）
  - 研究： NPO環境経営学会 格付研究委員会
  - 実施： NPO環境経営学会 環境経営格付機構
    - 推進： 同 格付推進委員会
    - 判定： 同 判定委員会
    - 審判： 同 提訴委員会
  - 評価： 格付評価委員
- **評価のツール**（格付参加企業と格付評価委員の両者が共通に利用）
  - 格付調査票
  - SMRマニュアル(基準の解説、判断基準、用語の説明、Q&A、参考文献)
- **実施スケジュール**（2004年度）
  - 格付評価システムの開発・改善： 4～9月
  - 格付参加企業側のエビデンス準備作業： 10～11月
  - 格付評価委員によるエビデンス確認作業、経営インタビュー： 11～1月
  - 格付評価結果の調整、集計分析： 2～3月
  - 結果の公表： 3月末

# 環境経営格付評価システムの基本構成

組織・企業の持続的発展が可能な経営を問うもの  
いずれも持続可能社会の構築に不可欠なもの

評価側面は、環境経営学会の会員にも  
開示し、議論を重ね、  
その視点や内容も検討！

3つの評価分野(3E:経営、環境、社会)に23の評価側面  
→「あるべき姿」を組織・企業に明示  
3つの活動展開の段階(戦略、仕組、成果)で評価項目を展開  
→組織・企業の各段階(ステップ)での対応状況が明確に



# 環境経営格付評価の側面の変化

■第1回 2002年度 (20側面)

■第2回 2003年度 (21側面)

■第3回 2004年度 (23側面)

## 経営 (4側面)

- A 経営理念
- B 企業統治(コーポレート・ガバナンス)
- C リスクマネジメント
- D 情報開示と説明責任

## 経営 (5側面)

- A 経営理念
- B 企業統治
- C 法令等の順守
- D リスクマネジメント
- E 情報開示

## 経営 (5側面)

- A 経営理念
- B 企業統治
- C コンプライアンス
- D リスクマネジメント
- E 情報開示・コミュニケーション

## 環境 (11側面)

- E 地球温暖化対策
- F 資源循環(リデュース・リユース・リサイクル)
- G 有害化学物質管理(含・環境ホルモン)
- H 大気・水質・土壌汚染
- I 事業立地と社会資産形成
- J グリーン購入
- K 廃棄物処理
- L エコデザイン
- M 物流(ロジスティクス)
- N 環境報告書・環境会計
- O 資源・エネルギー効率・環境対策の向上

## 環境 (9側面)

- F 地球温暖化対策・省エネルギー
- G 資源循環・廃棄物
- H 化学物質管理
- I 土壌汚染対策
- J 水資源・水質
- K 自然環境保護
- L グリーン調達・グリーン購入
- M エコデザイン
- N 物流

## 環境 (9側面)

- F 物質・エネルギーの量的把握
- G 製品・サービスの環境負荷低減
- H 地球温暖化の防止
- I 輸送に伴う環境負荷の低減
- J 資源循環および廃棄物削減
- K 化学物質の管理
- L 土壌汚染の防止・解消
- M 水資源・水質の保全
- N 生物多様性の保全

## 社会 (5側面)

- P 企業倫理の向上
- Q 地域社会への配慮
- R 消費者への配慮
- S 労働安全衛生
- T 機会均等

## 社会 (7側面)

- O 企業文化
- P 地域社会との調和
- Q 消費者への配慮
- R 就業の継続性
- S 労働安全衛生
- T 機会均等
- U 女性の社会進出・就業支援

## 社会 (9側面)

- O 持続可能性重視の企業文化
- P 地域の文化継承・創造
- Q 地域の生活環境形成
- R 消費者への責任履行
- S 就業の継続性確保
- T 安全で健康的な労働環境形成
- U 機会均等の徹底
- V 仕事と私的生活の調和
- W 調達先の環境・社会対応支援



# 環境経営格付け評価システム － 2004年度の構成－

- 評価分野 : 3 (経営、環境、社会)
- 評価側面 : 2 1 (経営 5、環境 9、社会 7)  
→ 2 3 (経営 5、環境 9、社会 9)
- 評価項目 : 6 3 (1 5、2 7、2 1)  
→ 6 9 (1 5、2 7、2 7)
- 設 問 : 1 8 9 (4 5、8 1、6 3)  
→ 2 0 7 (4 5、8 1、8 1)
- 必須要件 : 3 7 2 (1 2 1、1 3 7、1 1 4)  
→ 5 3 0 ( 9 9、1 6 6、2 0 4)

# 環境経営格付け評価システム ー 2004年度の特徴ー

- Ⅰ 環境経営の**あるべき姿**を評価側面毎に設定
- Ⅰ より**本質的で効果的**な経営課題を選択
- Ⅰ 特に**CSR**に関わる課題を拡充
- Ⅰ 必須要件への適合の**判断基準**を**4段階**に設定

# 環境経営格付け評価システム ー判断方式ー

## 必須要件への適合判断

評点3：サステナブルな水準

評点2：環境経営（サステナブルマネジメント）  
に確実に向かっていると認められる水準

評点1：安定的に必須要件を確実に満たす方向に向  
かっていると判断しがたいと言った水準

評点0：設問の目的達成は不可能と考えられる水準

# 環境経営格付け評価システム

## 一葉の色の識別閾値一

- 緑 色 : 持続可能な水準に到達 :  $90 < P$
- 若緑色 : 持続可能な水準にほぼ到達 :  $70 < P \leq 90$
- 黄 色 : 持続可能な水準への途上 :  $50 < P \leq 70$
- 赤 色 : 持続可能な水準到達に疑問 :  $30 < P \leq 50$
- 落ち葉 : 持続可能な水準到達は困難 :  $P \leq 30$

# 環境経営格付け評価

## 第 3 回格付け評価 結果にみる傾向

# 環境経営格付評価

## 格付評価対象企業の動向

業種	2002年度	2003年度	2004年度
製造・素材	32	34	29
製造・組立	36	23	18
非製造	18	18	17
鉄鋼	2	1	2
窯業	2	4	4
石油	3	3	2
化学・医薬・繊維	16	17	14
食品等製造業	9	9	7
一般機械・輸送機械	8	9	7
電気・精密機械	23	13	9
その他製造業	5	1	2
建設業・不動産業	5	5	4
運輸業	2	3	3
エネルギー供給業	3	4	5
流通業	6	4	5
サービス業	0	2	0
参加企業合計	84	75	64

# 第1、2回評点獲得状況

	獲得 評点数	評点 獲得率
最高獲得評点	215	99.5%
第10位	209	96.8%
四分位	201	93.9%
中位	194	89.8%
平均	187	86.6%
最少獲得評点	122	56.5%

	獲得 評点数	評点 獲得率
最高獲得評点	187	98.9%
第10位	184	97.4%
四分位	182	96.3%
中位	174	92.1%
平均	170	89.7%
最少獲得評点	121	64.0%

- 一回目より評点が上昇しており大変出来が良い
  - ・ 今回参加した企業は概ね先進的環境対応企業であり当然の結果

# 第3回評点獲得状況

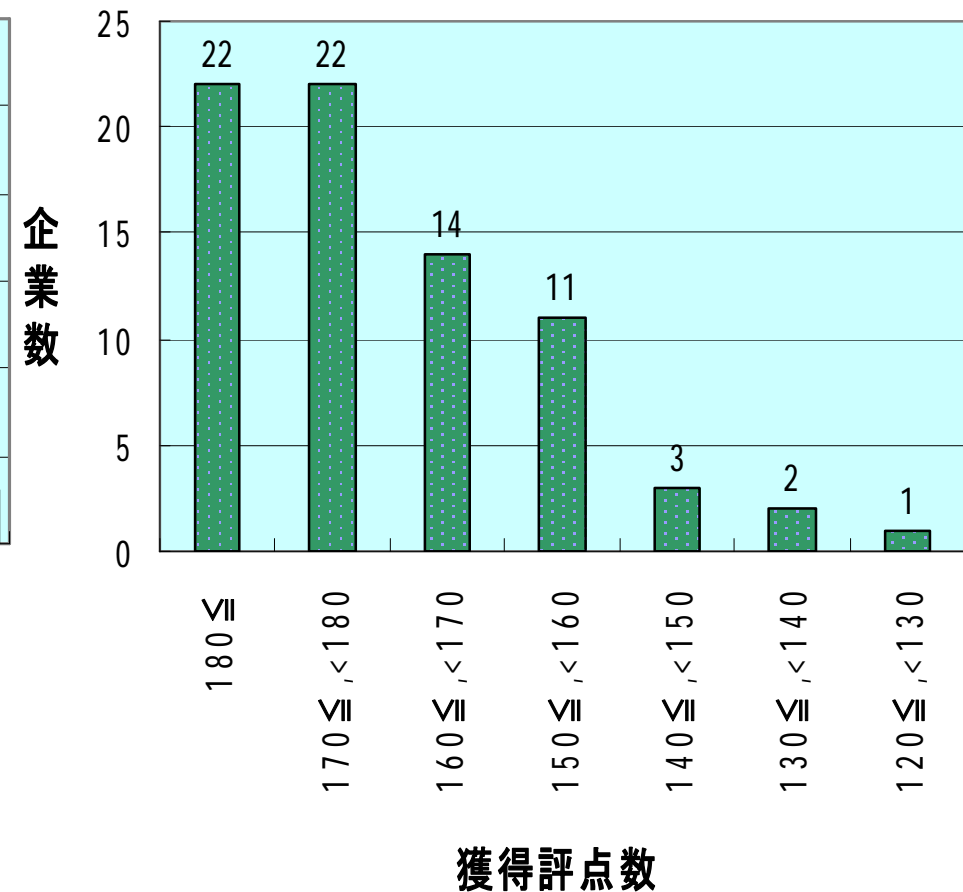
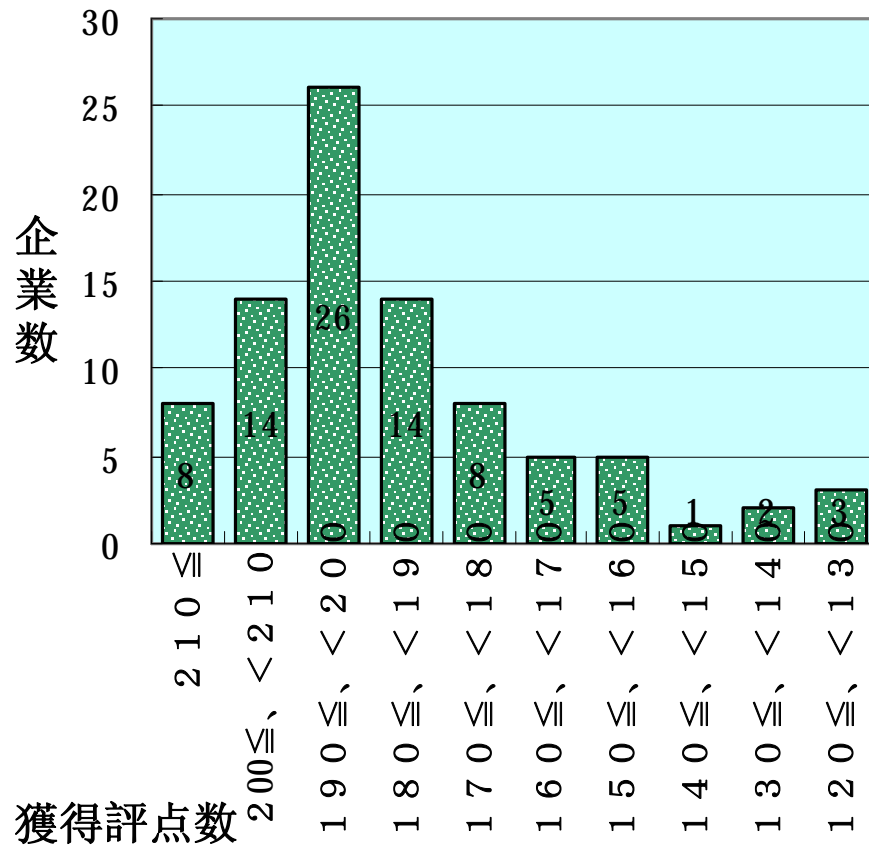
	獲得評 点数	評点 獲得率 (%)
最高獲得評点	205	98.8
第10位	199	96.1
四分位	195	94.2
中位	181	87.2
平均	180	86.8
最小獲得評点	107	51.7

● 2回目より評点が低下しており全体として得点範囲が広がった

・評価にCSR関連項目が設けられたこと、経験の差の拡大などが影響しているものと見られる。



# 全設問での評点獲得数分布 第1、2回



全設問への評点獲得数は、企業間で大きな**差異がある**

Copyright by SMF

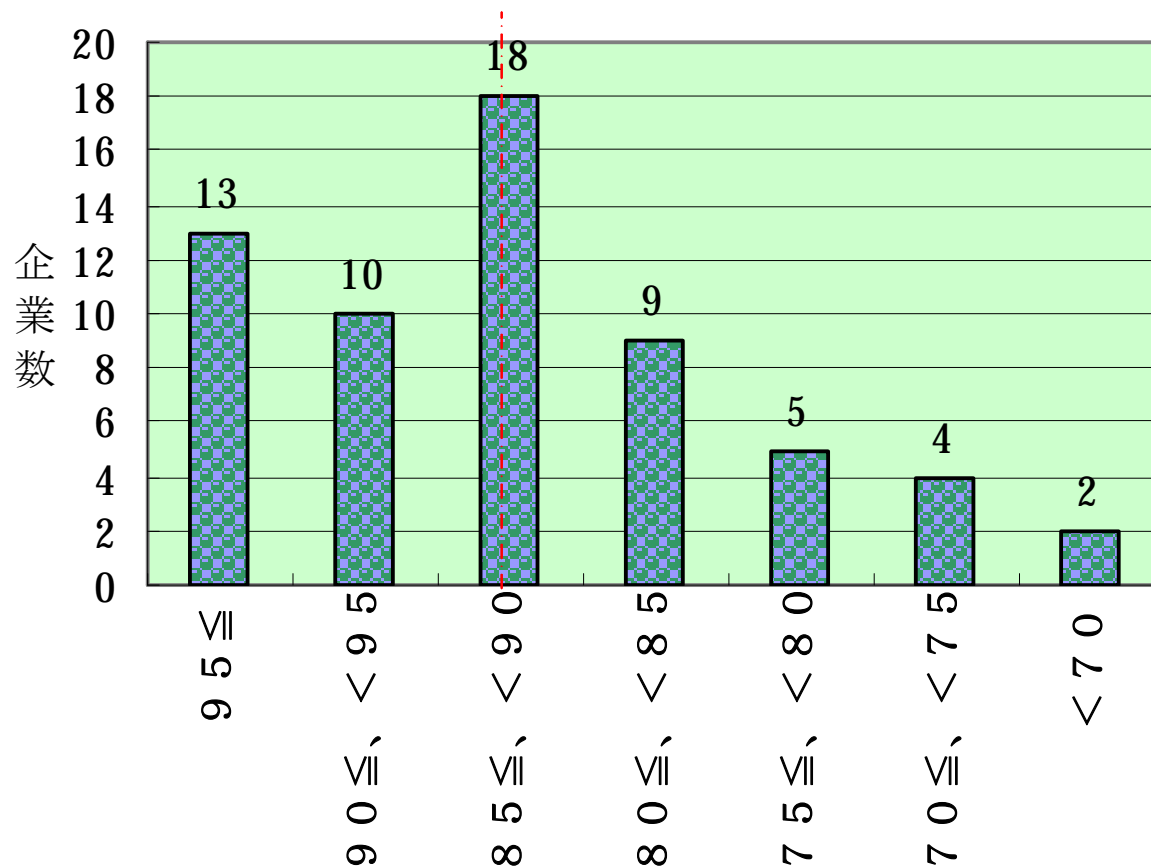
Japan, 25/03/2005

全設問の評点獲得数は**偏りがある**。  
設問の内容への適合判断の姿勢が2つ（甘辛）に分かれた可能性がある

# 全設問での評点獲得数分布

## 第3回

平均：87%



全設問の評点獲得率の分布には、**二つの山がある。**

# 評価側面 3分野の評点獲得傾向

## 第1、2回

分野	評点獲得率
環境経営信頼性	85.3
環境保全性	85.7
社会・文化・倫理	87.6

分野	評点獲得率
経営	94.1
環境	88.5
社会	88.3

● 全体としては3分野間の差は少ない

● 全体としてレベルアップしながら、かつ経営分野の向上が顕著

# 評価側面 3 分野の評点獲得傾向

## 第 3 回

	評点獲得率
経営	93.1
環境	87.2
社会	82.9

● 経営・環境・社会と分野による差が拡大した

# 分野別評点獲得傾向 (第3回)

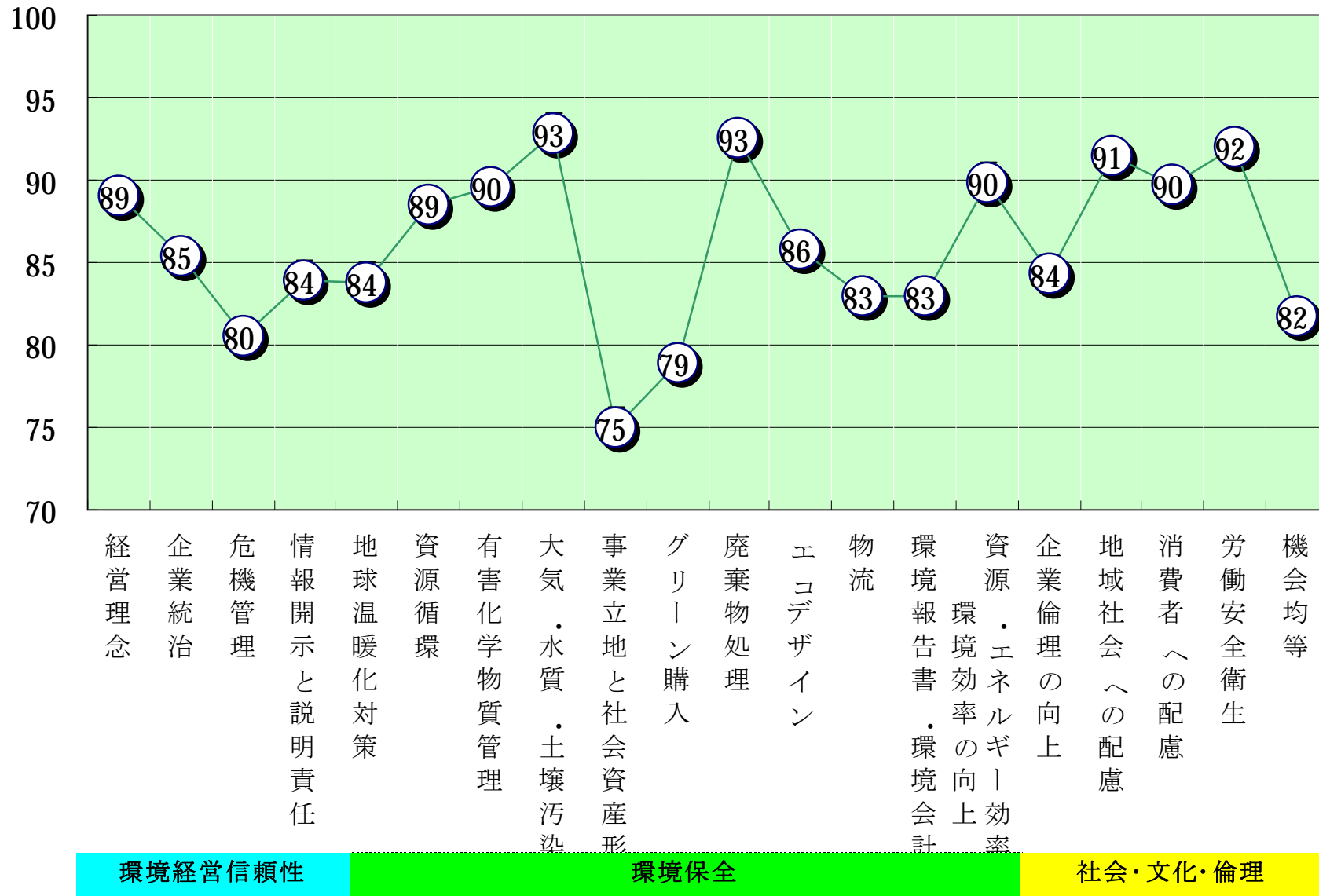
- Ⅰ 全体としては可能性のある企業が殆ど
- Ⅰ 経営 > 環境 > 社会の順である
- Ⅰ 持続可能な水準到達に疑問とされる企業は環境分野のみ

経営分野	経営	環境	社会	全体
90 <	48	29	18	23
70 <、≦ 90	12	29	35	36
50 <、≦ 70	1	2	8	2
30 <、≦ 50	0	1	0	0
≦ 30	0	0	0	0

# 評価側面別評点獲得率（第1

回)

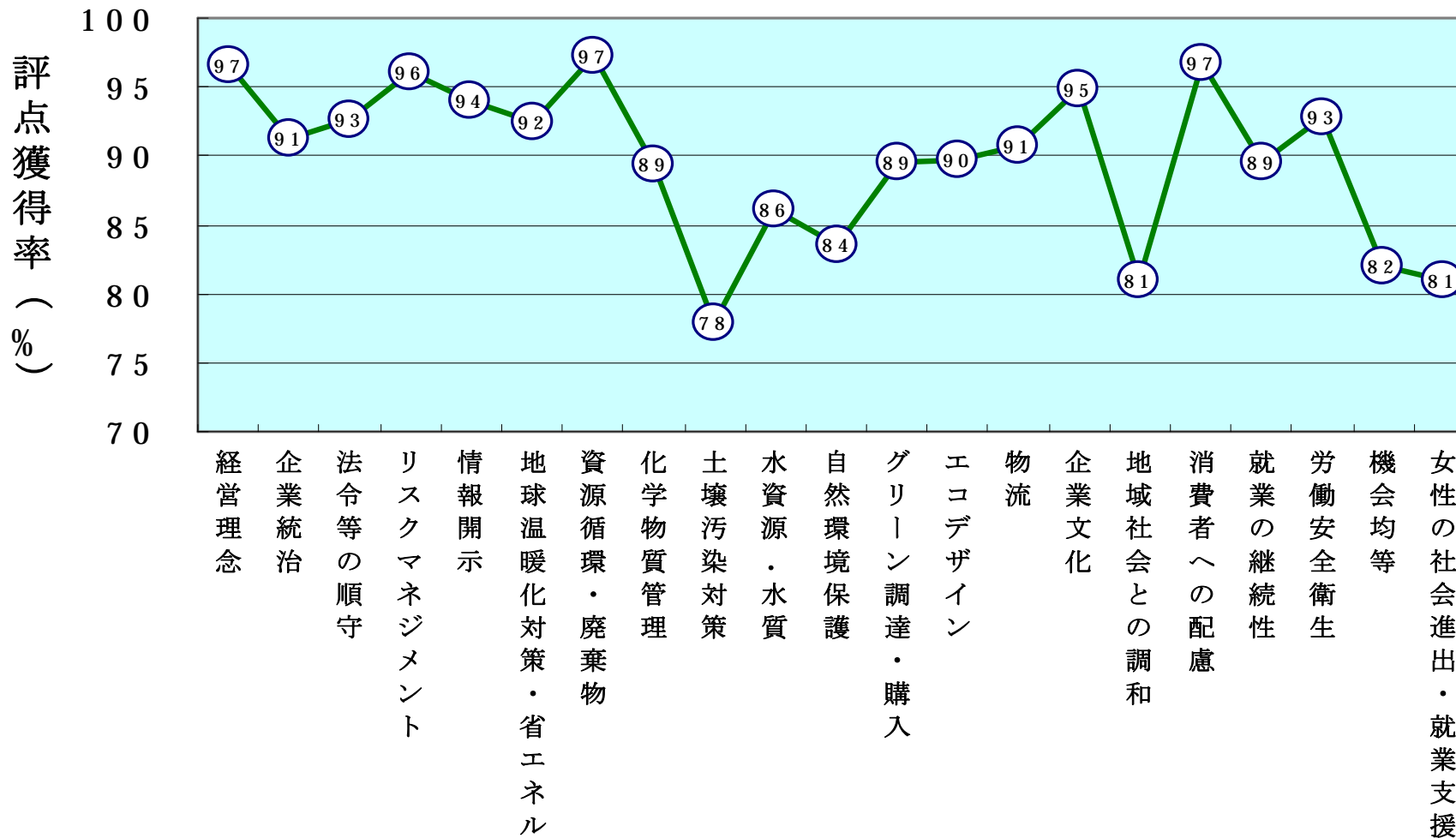
● 評価の側面毎の評点獲得率は、大きなバラツキがある。



# 評価側面別評点獲得率（第2

回）

● 評価の側面毎の評点獲得率は、大きなバラツキがある。

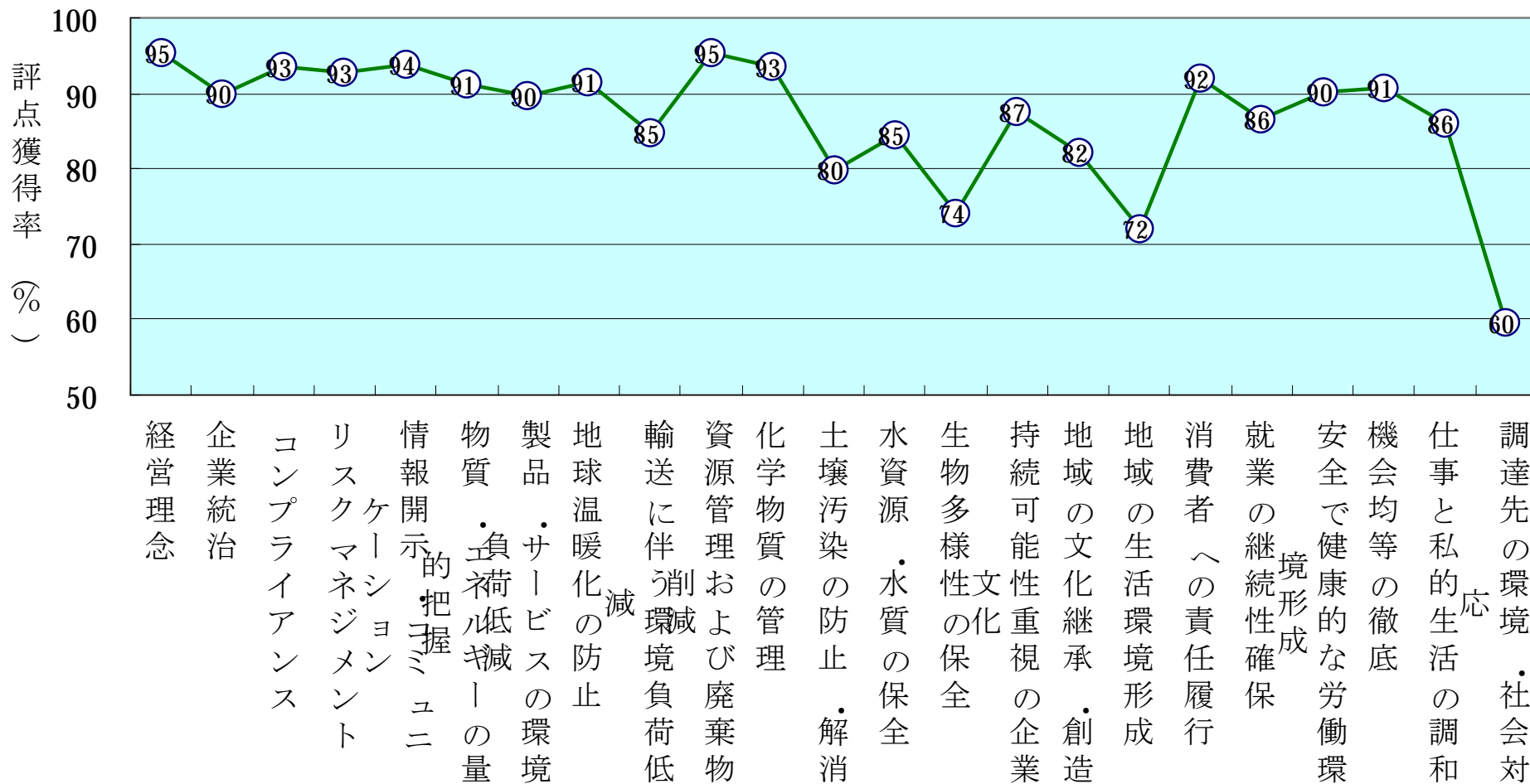


評価側面

# 評価側面別評点獲得率 (第3

回)

- 評価の側面毎の評点獲得率は新規項目で大きなバラツキが発生している。経営分野は安定。環境・社会で新規・変更側面の獲得率が低い。





# 段階別の評点獲得傾向

## 第1、2回

	評点獲得率
戦略	89.2
組織	88.4
成果	80.9

	評点獲得率
戦略	94.0
仕組	88.5
成果	88.2

戦略と組織（仕組）の視点からの評価が高く、**成果が全体としては立ち遅れている**

Copyright by SMF  
Japan, 25/03/2005

戦略面の対応が更に充実し、成果面での結果が仕組みの整備状況に応じたものになって来ている。

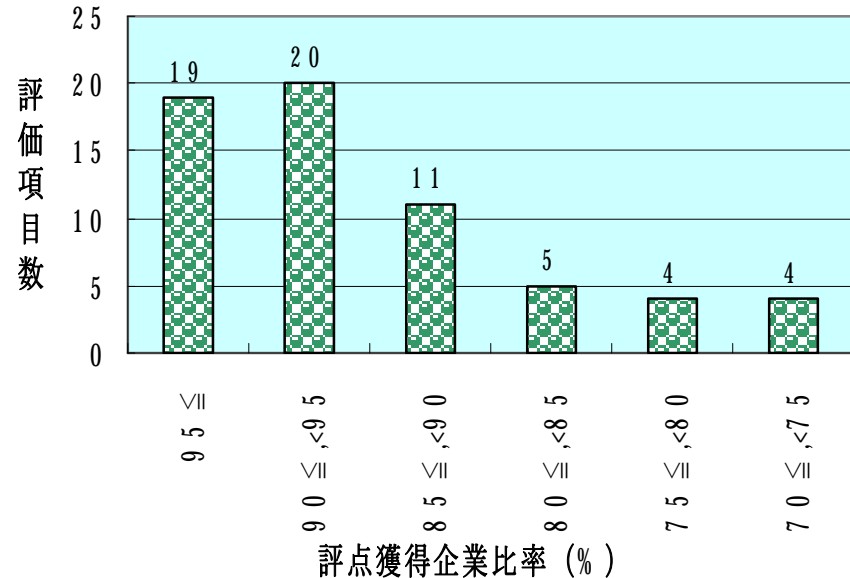
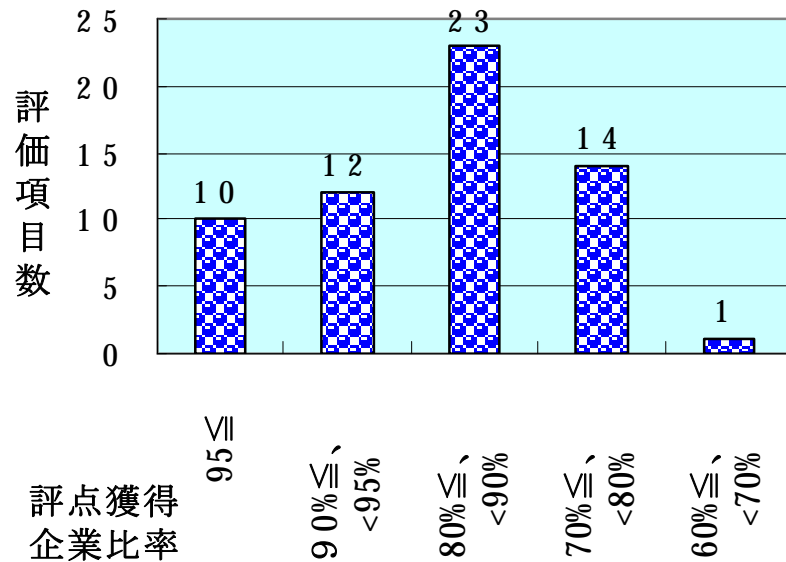
# 段階別の評点獲得傾向

## 第3回

	評点獲得率
戦略	93.1
仕組	87.2
成果	82.9

戦略、仕組、成果の準で対応程度が追従している結果が表れている。

# 評価項目別 評点獲得企業比率の分布 第1、2回



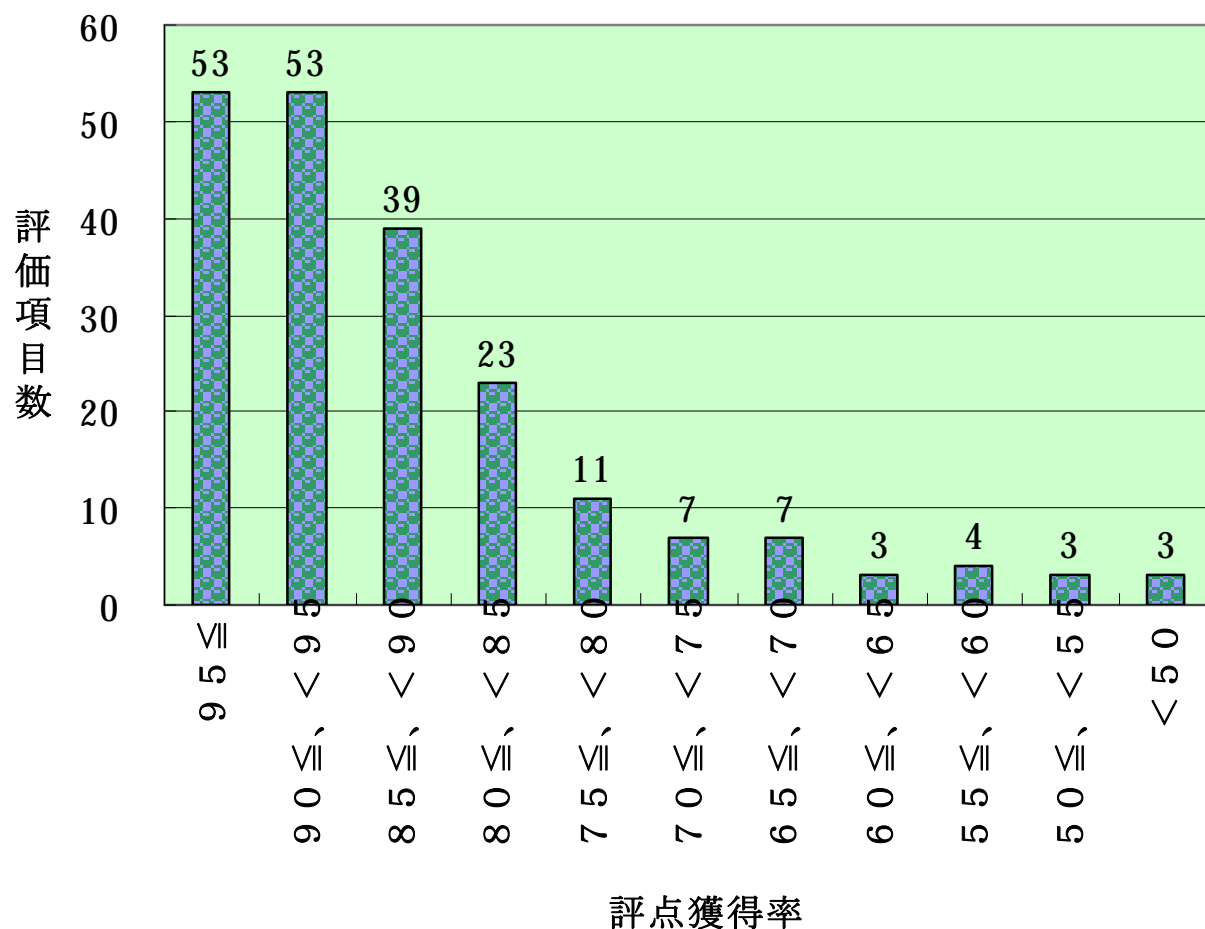
## ● 評価項目間の差が30%を超える

90%以上の企業が評点を獲得している評価項目が全体の1/3以上に達する。最も低い評価項目は「事業立地と社会資本形成」の成果

## ● 評価項目間の差26%

・90%以上の企業が評点を獲得している評価項目が全体の半数以上に達する。最も低い評価項目は「土壌汚染対策」の仕組

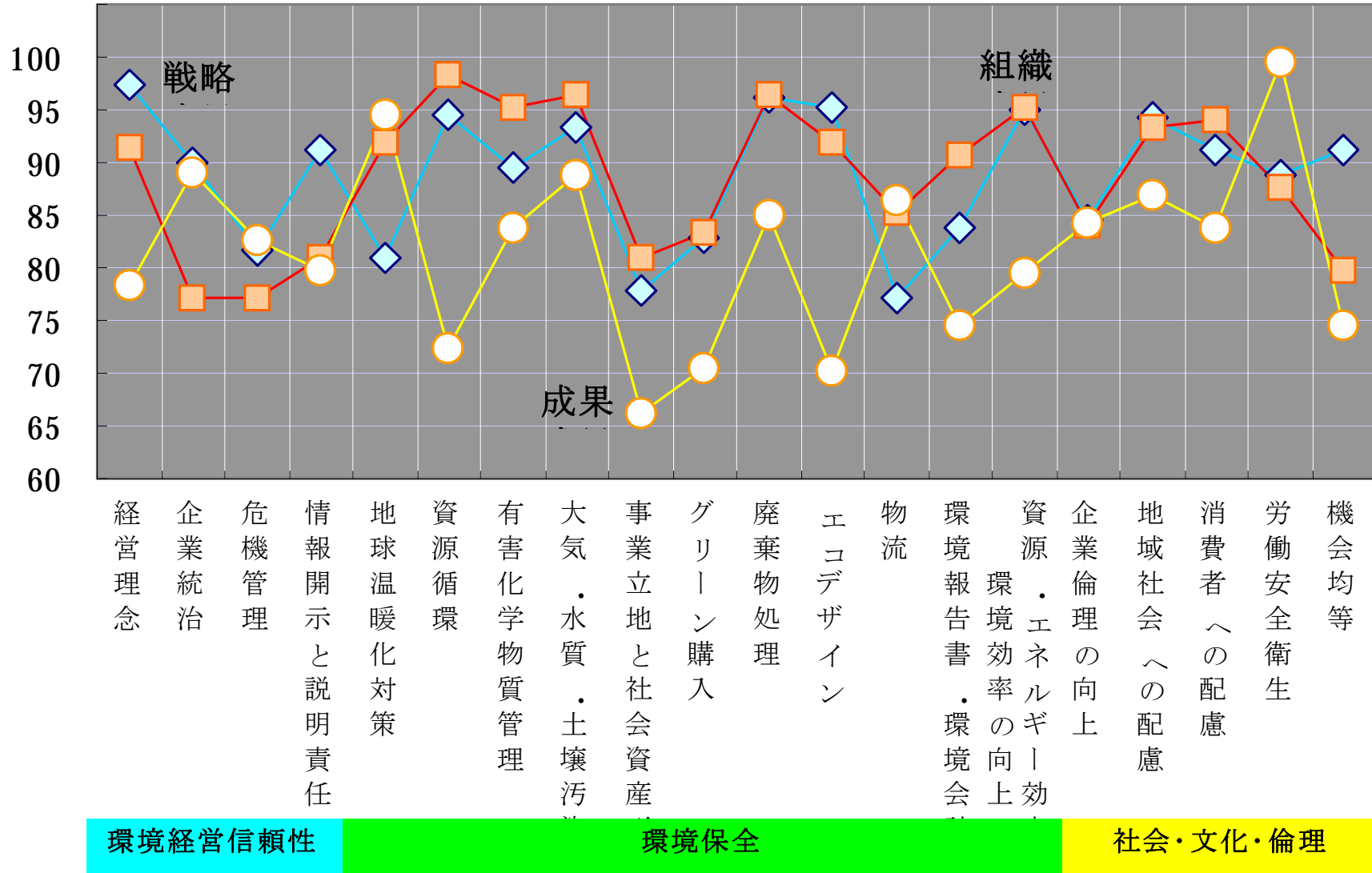
# 評価項目別 評点獲得企業比率の分布 (第3回)



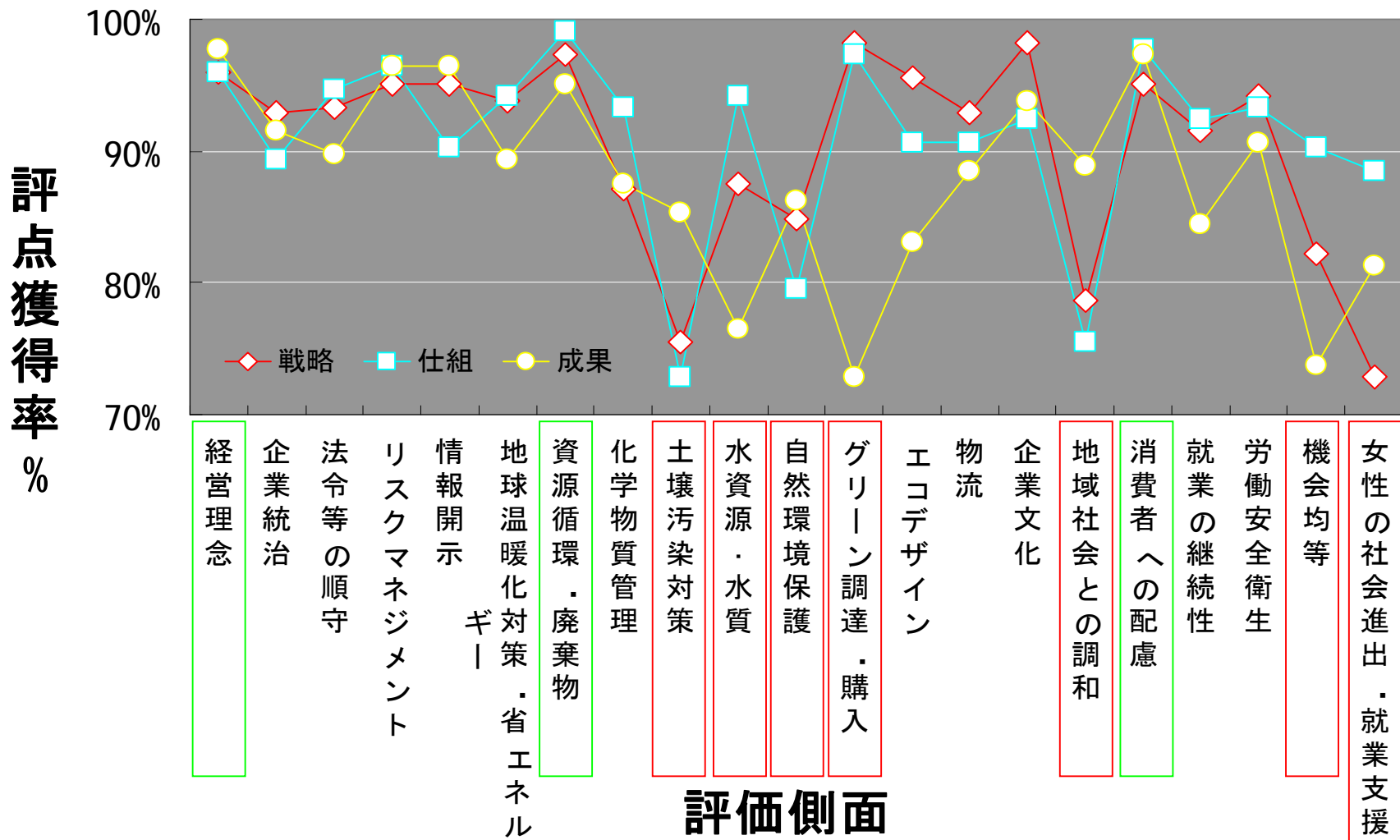
● 評価項目は、企業側が対応出来ているものと、対応出来ていない項目とに分かれる。

# 評価側面・段階別の評点獲得率 (第1回)

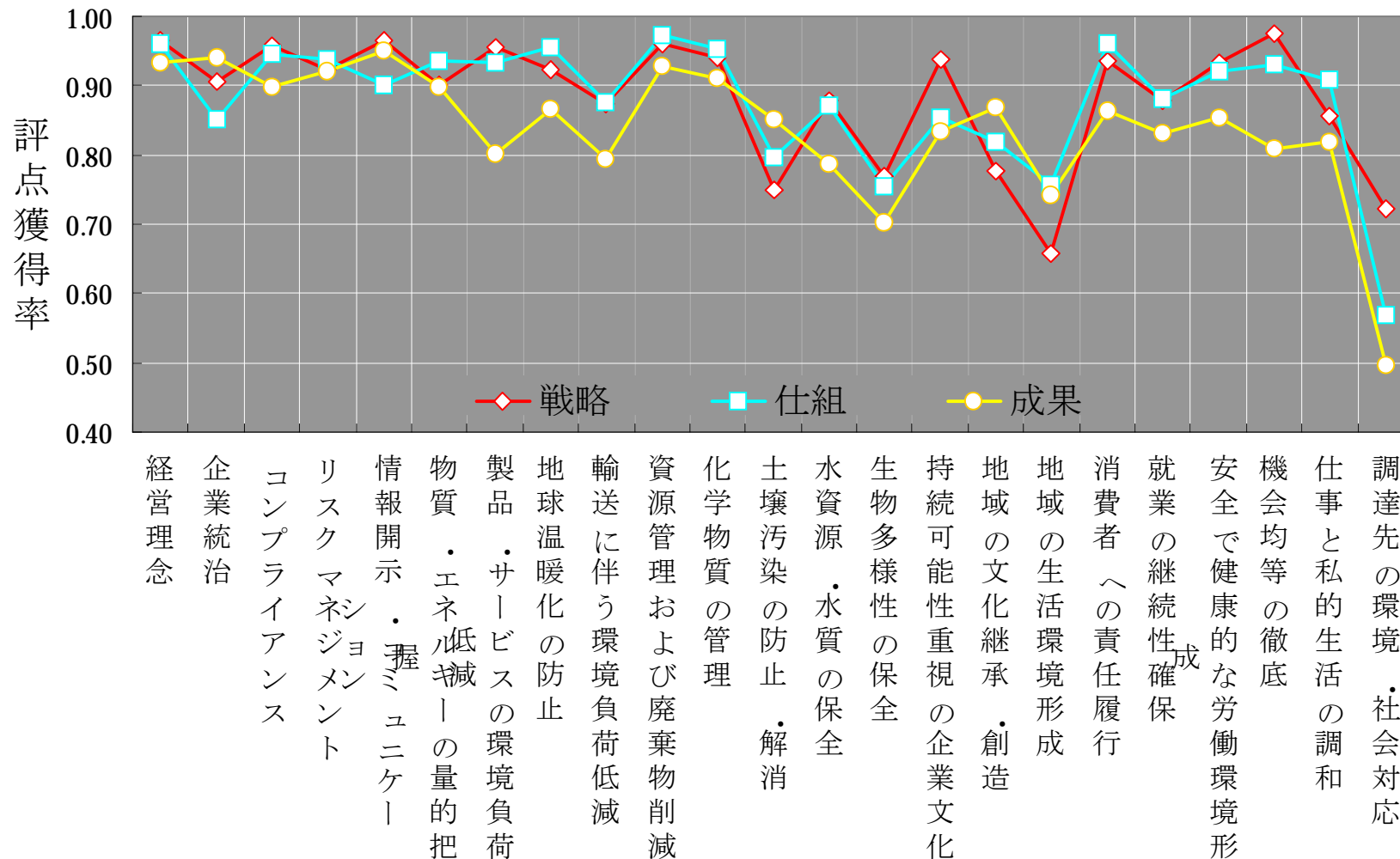
● 評価の側面、段階毎に大きな差異がある。



# 評価側面・段階別の評点獲得率 (第2回)



# 評価側面・段階別の評点獲得率 (第3回)



# 産業の特性による傾向



# 評価分野別に見る産業間の評点獲得率

第1回	経営	環境	社会
製造（素材）	85.5	84.4	87.4
製造（組立）	85.1	87.0	87.1
非製造	85.4	85.5	89.1

第2回	経営	環境	社会
製造（素材）	91.2	85.7	83.9
製造（組立）	89.7	91.3	86.8
非製造	94.6	85.9	88.5

- Copyright by SMF Japan, 23/03/2005 分野別の評点獲得率は、**産業による格差が拡大**している。

# 評価分野別に見る産業間の評点獲得率

- 産業間の差が縮まりに、似通った傾向に
- 分野間の差はより鮮明になった

第3回	経営	環境	社会	系別
素材系製造業	92	86	82	86
組立系製造業	94	89	82	87
非製造業	94	88	86	88
全体	93	87	83	87

# 段階別に見る産業間の評点獲得率

第1回	戦略	仕組	成果
製造（素材）	89.0	88.2	79.4
製造（組立）	89.4	88.2	82.2
非製造	89.3	89.4	80.9

第2回	戦略	仕組	成果
製造（素材）	88.7	87.7	82.8
製造（組立）	87.1	90.7	90.4
非製造	89.0	90.6	86.9

●段階別に見ると**成果面**で産業間に大きな差が見られる。

# 段階別に見る産業間の評点獲得率

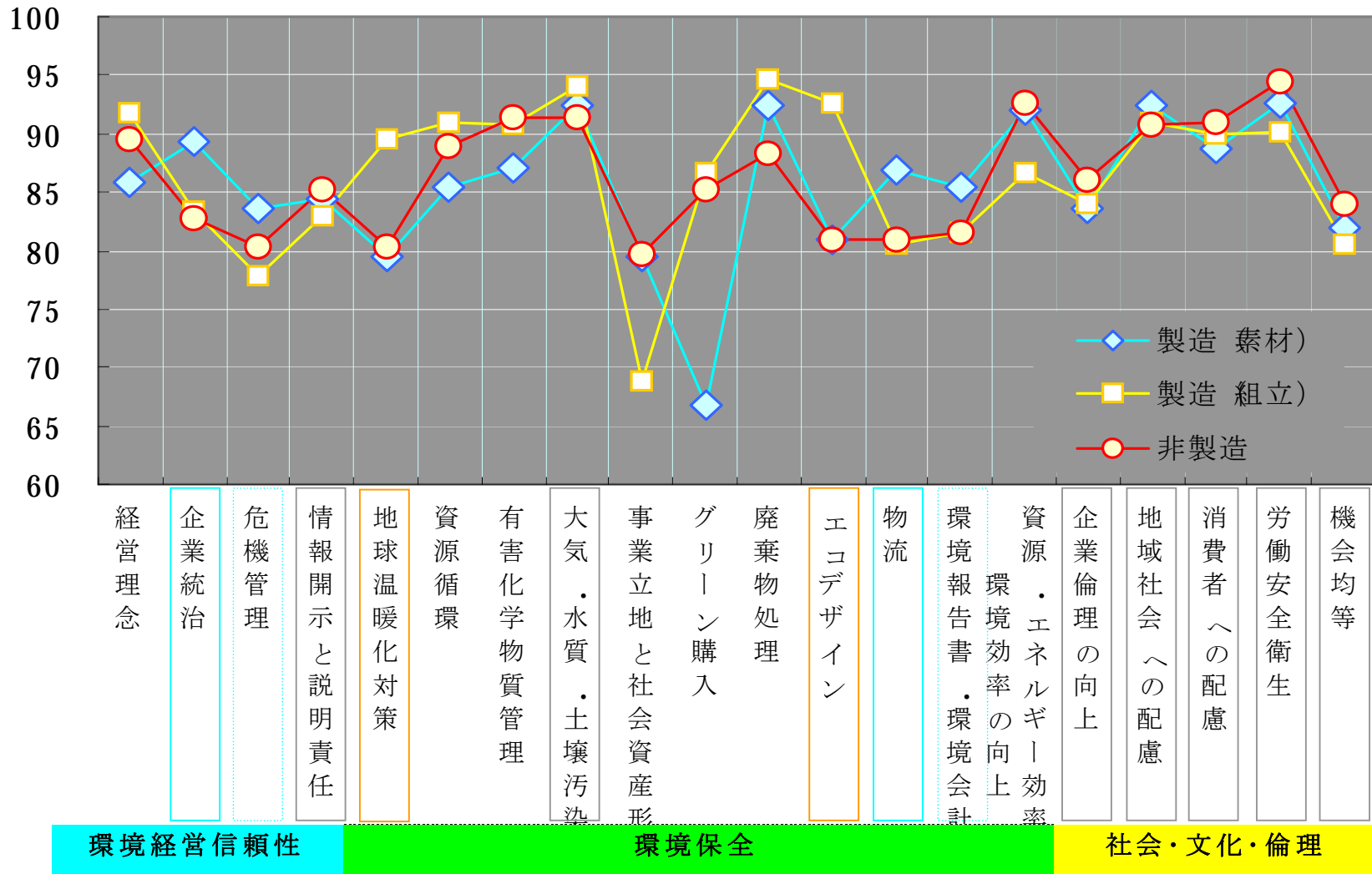
- 段階間の差が縮小している。

第3回	戦略	仕組	成果	系別
素材系製造業	88	86	83	86
組立系製造業	88	88	87	87
非製造業	89	90	86	88
全体	88	88	85	87

# 各評価側面に対する産業間の違い

## 第1回

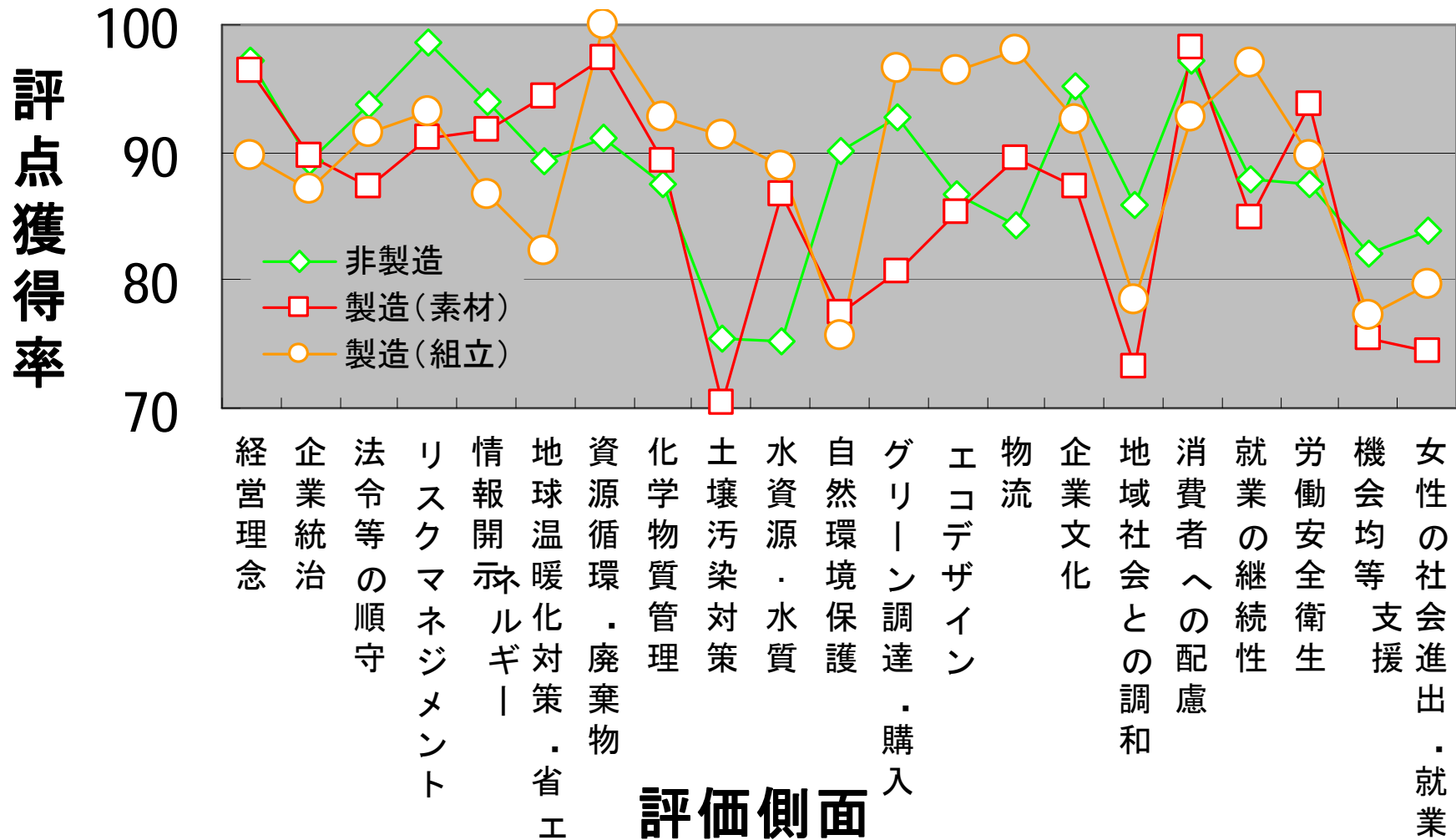
● 各評価側面で見ると産業種別の特色が出ている。



# 各評価側面に対する産業間の違い

## 第2回

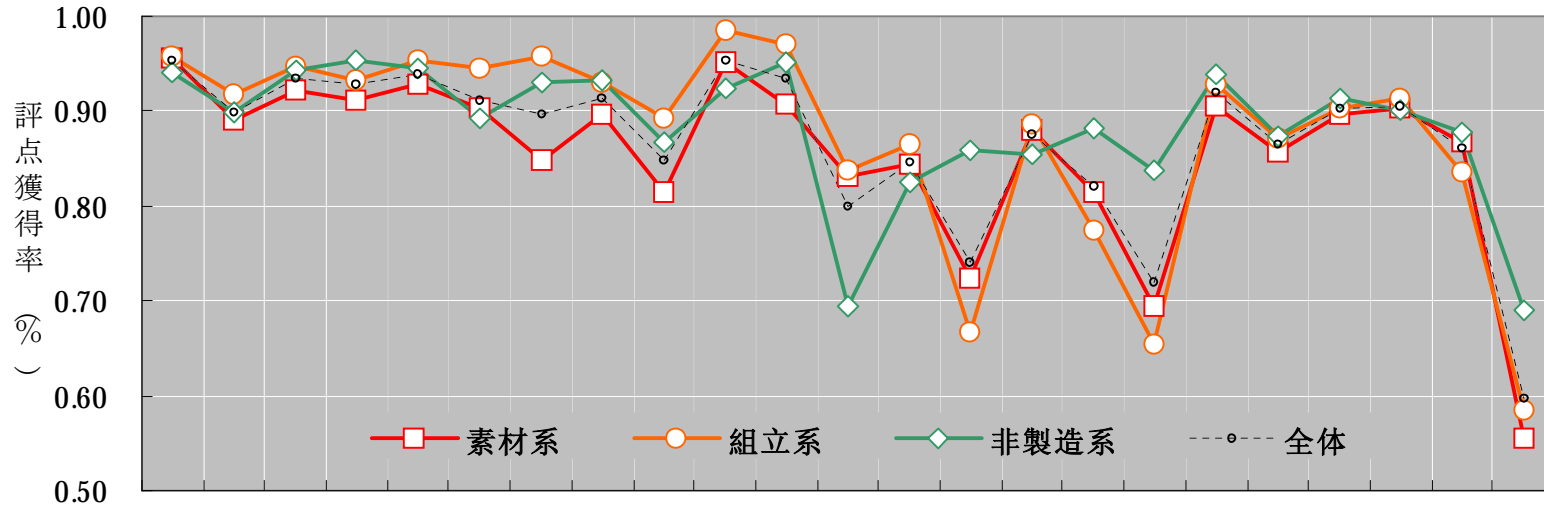
● 各評価側面で見ると産業種別の特色が出ている。



# 各評価側面に対する産業間の違い

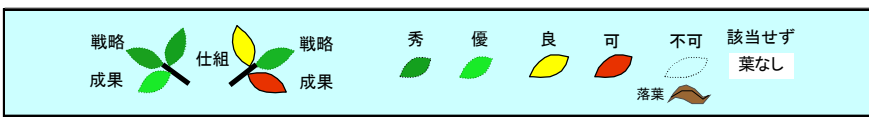
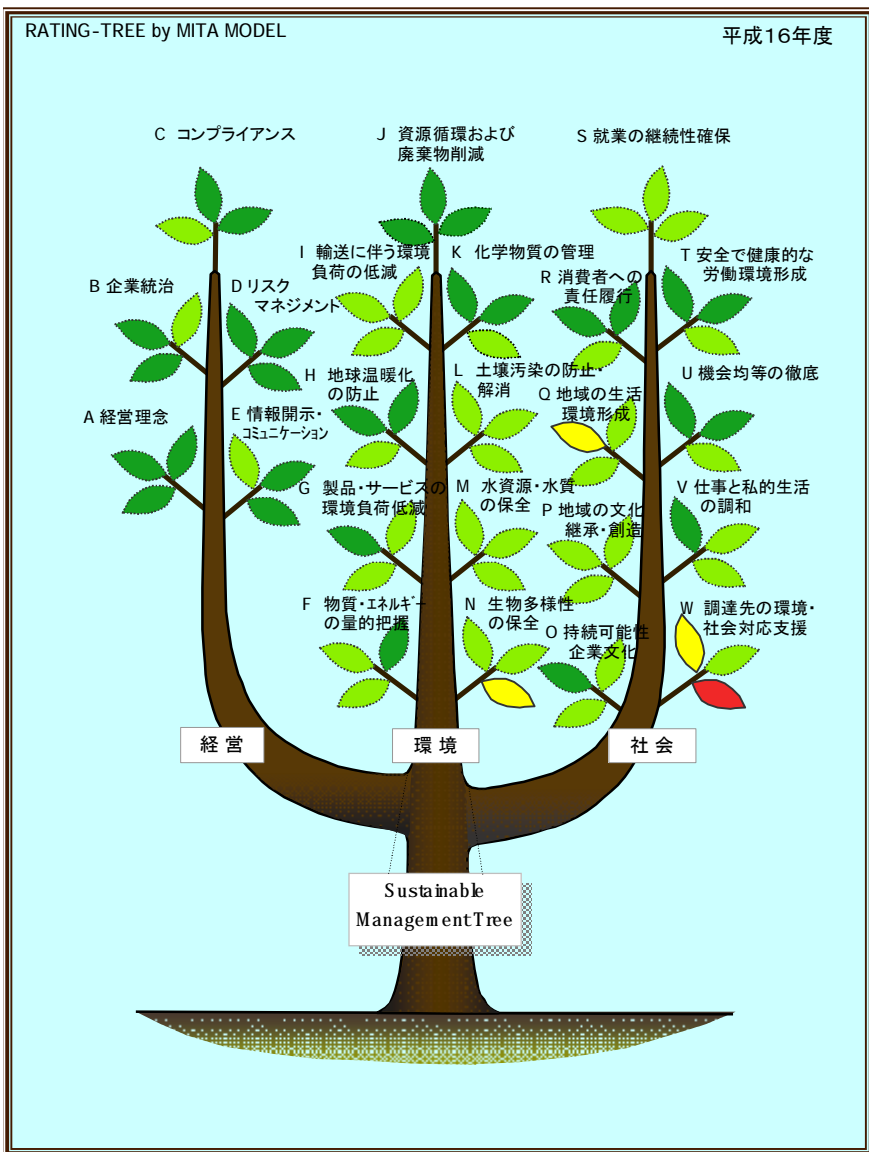
## 第3回

● 各評価側面で見ると今回も**産業毎の特色**が出ている。



経営理念  
企業統治  
コンプライアンス  
リスクマネジメント  
情報開示・コミュニケーション  
物質・エネルギーの量的把握  
製品・サービスの環境負荷低減  
地球温暖化の防止  
輸送に伴う環境負荷低減  
資源管理および廃棄物削減  
化学物質の管理  
土壌汚染の防止・解消  
水資源・水質の保全  
生物多様性の保全  
持続可能性重視の企業文化  
地域の文化継承・創造  
地域の生活環境形成  
消費者への責任履行  
就業の継続性確保  
安全で健康的な労働環境形成  
機会均等の徹底  
仕事と私的生活の調和  
調達先の環境・社会対応

# 製造(素材)平均



## 平成16年度 MAP & DATA

企業	501	製造(素材)平均
----	-----	----------

葉色カラー値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
戦略	4	4	4	4	4	3	4	4	3	4	4	3	3	3	4	3	2	4	3	4	4	3	3
仕組	4	3	4	4	3	4	3	4	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	4	4	4	2
成果	4	4	3	4	4	3	3	3	3	4	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	1

葉色評価値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
戦略	97.2	90.4	95.1	90.1	95.9	89.8	93	90.7	84.1	95	91.9	78.5	89.8	76.3	94.7	79.5	62.2	92.5	87.8	94.2	98	87.7	71.2
仕組	95.6	83.8	94	91.5	88.1	93.1	88.5	95.2	84.4	96.7	93.1	81.3	87	72.7	84.3	78.9	74	94.9	87.4	91.2	93	90.8	50.6
成果	94.1	92.6	87.4	91.9	94.4	88.1	72.7	83	75.7	93.7	87.3	89.3	76.5	67.8	84.7	86	72.2	84.1	81.5	83.7	80.2	81.4	44.7
総合	95.6	88.9	92.1	91.2	92.8	90.4	84.7	89.7	81.4	95.1	90.8	83.0	84.4	72.3	87.9	81.5	69.5	90.5	85.6	89.7	90.4	86.6	55.5

ブロック評価値

	経営	環境	社会	総合
戦略	94	88	85	88.1%
仕組	91	88	83	86.5%
成果	92	82	78	82.3%
総合	92	86	74	85.6%

設問評価値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	
戦略	100%	81%	98%	94%	96%	94%	97%	97%	91%	97%	96%	87%	88%	78%	99%	90%	81%	86%	87%	96%	100%	86%	90%	t1
	99%	92%	98%	86%	94%	77%	91%	89%	92%	93%	87%	88%	93%	76%	94%	64%	67%	98%	95%	94%	96%	90%	65%	t2
	93%	99%	89%	91%	98%	98%	92%	87%	69%	94%	93%	61%	88%	75%	91%	84%	39%	93%	81%	92%	98%	87%	59%	t3
仕組	94%	83%	91%	93%	100%	99%	91%	100%	94%	98%	98%	94%	91%	78%	89%	88%	93%	98%	87%	91%	89%	89%	51%	s1
	94%	68%	98%	90%	90%	90%	81%	99%	81%	94%	90%	86%	94%	69%	80%	60%	81%	98%	94%	94%	92%	90%	47%	s2
	98%	100%	93%	91%	74%	90%	93%	87%	77%	98%	91%	63%	75%	72%	84%	89%	49%	89%	81%	89%	97%	93%	54%	s3
成果	92%	98%	80%	95%	97%	99%	72%	86%	79%	89%	93%	83%	61%	57%	71%	96%	87%	98%	84%	79%	93%	75%	42%	p1
	97%	81%	90%	96%	90%	74%	64%	78%	89%	94%	81%	91%	83%	69%	91%	74%	86%	93%	87%	85%	70%	81%	43%	p2
	94%	99%	92%	85%	96%	92%	81%	86%	59%	99%	88%	93%	85%	77%	91%	89%	44%	61%	74%	87%	77%	87%	49%	p3

濃緑:>90% 緑:>70% 黄:>50% 茶:50%以下

葉色のまとめ

評価	点	表示	項目数
秀	4	緑の葉	29
優	3	緑の葉	36
良	2	黄緑の葉	3
可	1	赤い葉	1
不可	0	落ち葉	0
非該当	除	葉なし	0

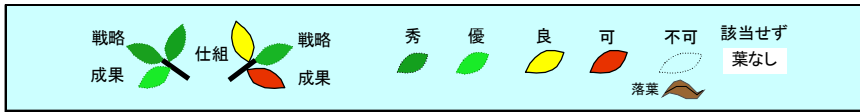
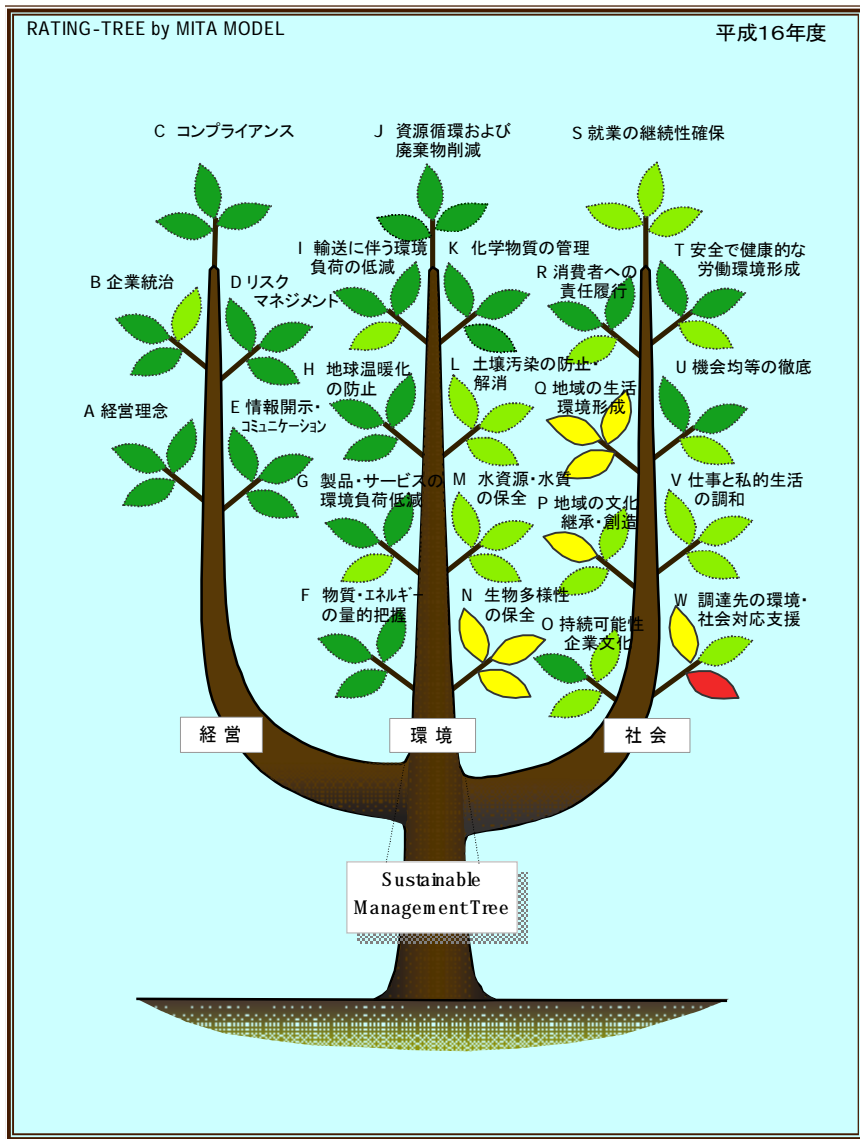
設問評価値の頻度分布

評価値	0%	11%	17%	22%	33%	44%	50%	56%	67%	78%	83%	89%	100%	計
頻度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5	3	13
分布	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	15%	23%	38%	23%	100%

コメント:



# 製造(組立)平均



# 平成16年度 MAP & DATA

企業	502	製造(組立)平均
----	-----	----------

業色カラー値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
戦略	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	2	4	2	2	4	3	4	4	3	3
仕組	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	2	3	3	2	4	3	4	4	3	2
成果	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4	4	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	1

業色評価値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
戦略	96.5	91.9	97.2	93.9	99	94.8	99.4	92.7	92	99.5	97.9	77.8	87.5	68.5	93.1	69.3	60	93.6	86.8	91	98.3	81.5	71.4
仕組	97	87.8	94.9	95.1	90.3	94.6	99.3	95.6	91.3	98.5	98.1	83.7	89.8	69.4	86.8	80.3	67.6	97	89.1	91.4	93.6	88.3	57.4
成果	94	95.6	92.4	90.7	96.5	94.1	88.5	90.5	84.3	97.7	94.9	89.9	82.3	62	85.9	82.5	68.4	87.7	85.8	88.3	81.9	81	46.8
総合	95.8	91.8	94.8	93.2	95.3	94.5	95.8	92.9	89.2	98.6	97.0	83.8	86.5	66.7	88.6	77.4	65.3	92.6	87.2	90.2	91.3	83.6	58.5

ブロック評価値

	経営	環境	社会	総合
戦略	96	90	83	88.4%
仕組	93	91	84	88.6%
成果	94	87	79	85.3%
総合	94	89	73	87.4%

設問評価値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	
戦略	98	86	98	99	97	97	99	100	96	100	100	83	76	76	96	74	74	88	86	96	99	75	93	t1
	97	90	97	84	100	90	100	88	95	99	97	88	94	69	93	58	68	94	95	92	100	85	57	t2
	94	100	97	98	100	98	99	91	85	100	97	63	93	60	90	76	38	99	79	85	96	85	65	t3
仕組	96	98	88	94	100	96	99	100	100	100	100	100	92	70	93	88	78	100	89	94	97	92	61	s1
	97	68	100	95	92	95	100	99	79	97	97	84	100	67	81	65	84	98	93	90	90	89	53	s2
	99	98	97	96	79	93	99	88	95	99	98	67	77	71	86	88	40	93	85	91	94	84	58	s3
成果	93	95	90	97	98	94	96	94	91	96	97	86	75	56	83	92	74	97	88	85	89	72	44	p1
	99	92	96	92	94	92	80	82	86	97	94	88	92	63	86	71	84	95	92	87	72	85	49	p2
	91	100	91	83	98	97	90	96	76	100	94	96	81	67	89	84	47	72	78	93	85	87	47	p3

濃緑: >90% 緑: >70% 黄: >50% 茶: 50%以下

業色のまとめ

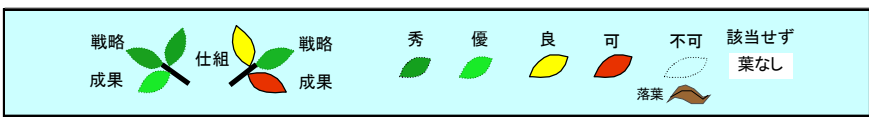
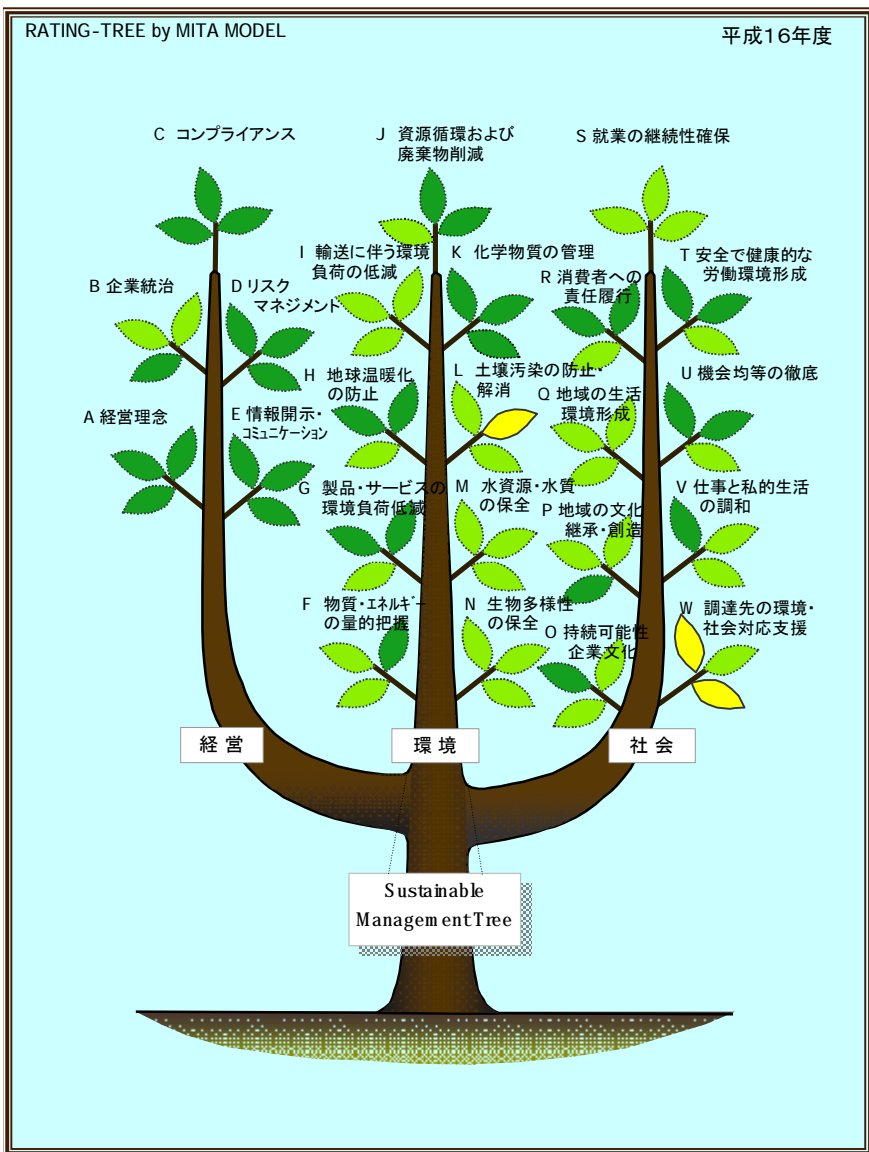
評価	点	表示	項目数
秀	4	緑の葉	37
優	3	緑の葉	23
良	2	黄緑の葉	8
可	1	赤い葉	1
不可	0	落ち葉	0
非該当	除	葉なし	0

設問評価値の頻度分布

評価値	0%	11%	17%	22%	33%	44%	50%	56%	67%	78%	83%	89%	100%	計
頻度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	4	21	28
分布	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	0%	7%	14%	75%	100%

コメント:

# 非製造平均



## 平成16年度 MAP & DATA

企業	503	非製造平均
----	-----	-------

業色カラー値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
戦略	4	3	4	4	4	3	4	4	3	4	4	2	3	3	4	3	3	4	3	4	4	3	3
仕組	4	3	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	4	4	4	2
成果	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	2

業色評価値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
戦略	95.1	89.4	95.3	94.9	95.6	85.9	96.7	95.1	89.3	94.3	94.6	64.8	84.1	87.2	93.1	82.8	79.3	95.3	89.4	94.1	96	86.2	75.3
仕組	96	84.6	95.6	97.3	93.3	93.1	96.3	95.8	89.6	96.9	96.3	72.2	84.8	87.2	85.7	89.1	87.7	97.3	88.4	94.3	93.1	93.5	68.4
成果	91.2	95.7	92.3	94.1	94.8	88.9	85.9	89.1	81.4	86.3	94.6	71.5	78.8	83.5	77.8	92.7	84.4	89.1	84	85.9	81.4	84	63.2
総合	94.1	89.9	94.4	95.4	94.6	89.3	93.0	93.3	86.7	92.5	95.1	69.5	82.6	85.9	85.5	88.2	83.8	93.9	87.2	91.4	90.2	87.9	69.0

業色評価値

経営理念	企業統治	コンプライアンス	リスクマネジメント	情報開示・コミュニケーション	物質・エネルギーの量的把握	製品・サービスの環境負荷低減	地球温暖化の防止	輸送に伴う環境負荷の低減	資源循環および廃棄物削減	化学物質の管理	土壌汚染の防止・解消	水資源・水質の保全	生物多様性の保全	持続可能性重視の企業文化	地域の文化継承・創造	地域の生活環境形成	消費者への責任履行	就業の継続性確保	安全で健康的な労働環境形成	機会均等の徹底	仕事と私生活の調和	調達先の環境・社会対応支援
------	------	----------	-----------	----------------	---------------	----------------	----------	--------------	--------------	---------	------------	-----------	----------	--------------	------------	-----------	-----------	----------	---------------	---------	-----------	---------------

ブロック評価値

	経営	環境	社会	総合
戦略	94	88	88	89.3%
仕組	93	90	89	90.3%
成果	94	84	82	85.7%
総合	94	88	78	88.4%

設問評価値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	
戦略	99%	81%	98%	97%	97%	93%	98%	98%	96%	98%	99%	68%	85%	90%	96%	84%	90%	93%	88%	98%	93%	85%	97%	t1
	96%	89%	98%	92%	94%	71%	97%	99%	86%	87%	94%	78%	90%	82%	95%	79%	81%	97%	95%	96%	95%	90%	66%	t2
	90%	98%	90%	96%	96%	93%	96%	89%	87%	98%	91%	49%	77%	89%	88%	86%	67%	97%	85%	88%	100%	84%	63%	t3
仕組	94%	83%	91%	96%	100%	94%	100%	99%	93%	100%	98%	94%	92%	87%	93%	91%	96%	99%	86%	94%	92%	93%	70%	s1
	95%	73%	99%	98%	96%	94%	91%	96%	84%	94%	93%	80%	90%	81%	78%	84%	91%	100%	95%	93%	90%	93%	64%	s2
	99%	97%	96%	99%	84%	91%	98%	92%	91%	97%	98%	42%	72%	94%	86%	93%	76%	93%	84%	96%	97%	94%	72%	s3
成果	84%	95%	90%	96%	96%	92%	84%	78%	80%	73%	97%	68%	69%	76%	63%	98%	91%	98%	84%	83%	96%	74%	56%	p1
	97%	92%	92%	97%	89%	78%	78%	90%	87%	89%	89%	82%	88%	79%	83%	86%	89%	100%	83%	87%	64%	87%	62%	p2
	92%	100%	95%	89%	100%	97%	96%	100%	77%	97%	98%	64%	79%	96%	87%	94%	73%	70%	85%	88%	84%	90%	71%	p3

濃緑:>90% 緑:>70% 黄:>50% 茶:50%以下

業色のまとめ

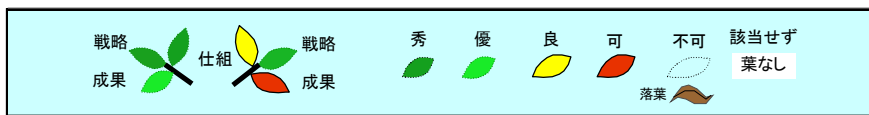
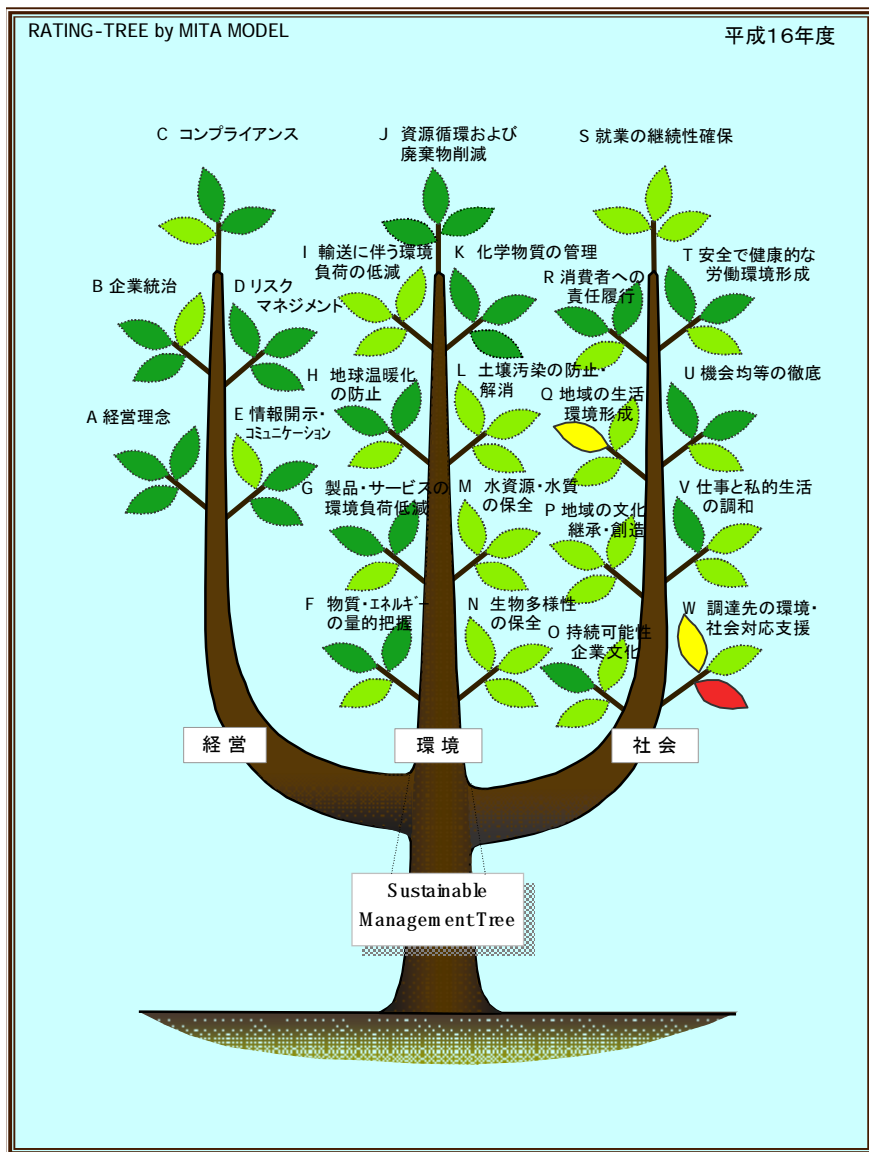
評価	点	表示	項目数
秀	4	緑の葉	32
優	3	緑の葉	34
良	2	黄緑の葉	3
可	1	赤い葉	0
不可	0	落ち葉	0
非該当	除	葉なし	0

設問評価値の頻度分布

評価値	0%	11%	17%	22%	33%	44%	50%	56%	67%	78%	83%	89%	100%	計
頻度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	8	9	23
分布	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	22%	4%	35%	39%	100%

コメント:

# 参加企業平均



# 平成16年度 MAP & DATA

企業	504	参加企業平均
----	-----	--------

葉色カラー値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
戦略	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	3	3	4	3	2	4	3	4	4	3	3
仕組	4	3	4	4	3	4	4	4	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	4	4	4	2
成果	4	4	3	4	4	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1

葉色評価値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
戦略	96.5	90.6	95.7	92.3	96.6	90.2	95.6	92.3	87.4	96	94.1	75	87.8	76.9	93.9	77.7	65.8	93.5	87.9	93.3	97.6	85.7	72.3
仕組	96.1	85	94.6	93.9	90	93.5	93.3	95.5	87.5	97.2	95.2	79.7	87.2	75.4	85.3	81.8	75.7	96.1	88.1	92	93.2	90.8	56.8
成果	93.4	94.1	89.9	92.1	95.1	89.9	80.1	86.5	79.4	92.9	91.1	85.1	78.6	70.1	83.3	86.8	74.2	86.3	83.2	85.5	81	81.9	49.8
総合	95.3	89.9	93.4	92.8	93.9	91.2	89.6	91.4	84.8	95.4	93.5	79.9	84.5	74.2	87.5	82.1	71.9	91.9	86.4	90.3	90.6	86.1	59.6

経営理念	企業統治	コンプライアンス	リスクマネジメント	情報開示・コミュニケーション	物質・エネルギーの量的把握	製品・サービスの環境負荷低減	地球温暖化の防止	輸送に伴う環境負荷の低減	資源循環および廃棄物削減	化学物質の管理	土壌汚染の防止・解消	水資源・水質の保全	生物多様性の保全	持続可能性重視の企業文化	地域の文化継承・創造	地域の生活環境形成	消費者への責任履行	就業の継続性確保	安全で健康的な労働環境形成	機会均等の徹底	仕事と私生活の調和	調達先の環境・社会対応支援
------	------	----------	-----------	----------------	---------------	----------------	----------	--------------	--------------	---------	------------	-----------	----------	--------------	------------	-----------	-----------	----------	---------------	---------	-----------	---------------

ブロック評価値

	経営	環境	社会	総合
戦略	94	88	85	88.5%
仕組	92	89	84	88.0%
成果	93	84	79	83.9%
総合	93	87	75	86.8%

設問評価値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
戦略	99%	82%	98%	96%	96%	95%	98%	98%	93%	98%	97%	81%	84%	80%	97%	84%	81%	88%	87%	97%	98%	83%	92%
仕組	95%	87%	90%	94%	100%	97%	95%	100%	96%	99%	98%	96%	92%	78%	91%	89%	90%	99%	87%	93%	92%	91%	58%
成果	90%	96%	85%	96%	97%	96%	81%	86%	82%	87%	95%	80%	66%	62%	72%	95%	85%	97%	85%	82%	93%	74%	46%
	97%	87%	92%	95%	91%	80%	72%	82%	88%	93%	86%	88%	87%	70%	88%	76%	86%	95%	87%	86%	69%	84%	50%
	93%	99%	92%	86%	98%	94%	87%	92%	68%	99%	92%	87%	83%	79%	90%	89%	52%	66%	78%	89%	81%	88%	54%

濃緑:>90% 緑:>70% 黄:>50% 赤:<50%以下

葉色のまとめ

評価	点	表示	項目数
秀	4	緑の葉	32
優	3	黄緑の葉	34
良	2	黄の葉	2
可	1	赤い葉	1
不可	0	落ち葉	0
非該当	除	葉なし	0

設問評価値の頻度分布

評価値	0%	11%	17%	22%	33%	44%	50%	56%	67%	78%	83%	89%	100%	計
頻度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
分布	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	50%	100%

コメント:

# 格付評価の経験による変化

## ● 評価分野

- ・ 経験の影響が顕著に出ている
- ・ 経営・環境・社会と順に差が拡大

	経営	環境	社会	系別
1 回経験	85	81	73	77
2 回経験	92	88	82	84
3 回経験	94	92	86	89

## ● 評価段階

- ・ 経験の影響がより顕著に出ている
- ・ 戦略・仕組・成果と順に差が拡大

	戦略	仕組	成果
1 回経験	80	78	74
2 回経験	86	86	82
3 回経験	90	89	87

# バウンダリーの違いによる評価結果

	企業数	評点 獲得率 (%)
単独	19	86.0
連結	42	87.3

## 第3回評価の結果の纏め

- CSR系の評価項目を中心として新規の項目を増やしたが、全体として評価結果は一定の水準を確保した。
- 環境経営面での対応が進んでおり、極めて高い水準の評価結果となった。
- 格付評価の経験が、環境経営の水準を引き上げていると認められる。

# 環境経営格付活動の成果

- (1) 環境経営は次第に環境対応を含むCSR経営へと移行しているが、最終的には企業経営を通じて持続可能な社会の構築に至る展望が生まれてきた。  
この結果、持続可能な社会の構築に寄与するためには、持続的発展可能な経営となっているかどうかを、格付によって評価する方向が見えてきた。
- (2) 環境経営格付の評価側面をどのようなものにするかについての議論は、環境経営学会といった第三者機関を通じて行なうことによりマルチステークホルダー・コミュニケーションの場として有効であり、様々な経営の可能性の中で、持続可能な社会に向けての経営のあり方を客観的・科学的に論議する場となった。  
また、これを通じて社会の様々な構成員が、夫々の行動の方向性を自覚する機会ともなることが分かった。
- (3) 今回研究開発された環境経営格付評価システムは、企業にとっては自らの行動をチェックする有効なツールとなりうることが分かった。格付評価に参加した企業の多くが、学会の格付評価を機会に自己点検を実施し、改善活動に役立てている。
- (4) 環境経営格付は、サステナブルマネジメント・ツリーという形で、企業の対応状況をより内部に渡って表現する方法を取っているが、これによって企業が、情報開示をより積極的に行なう状況が生まれてきた。

# 環境経営格付のこれから

- (1) 環境経営学会が、持続可能な社会を形成するために、必要不可欠な企業行動をより深耕し、より確かな方向性を見出す。
  - 社会や多様なステークホルダーの企業に対する期待、懸念および関心を組み入れた環境経営格付評価の内容の充実を図る。
  
- (2) より多くの組織・産業を巻き込む格付方法を確立する。
  - 大企業・製造業中心の格付から、金融業、サービス業などの広い産業分野をカバーするとともに、中小企業、自治体などより広範な組織の評価を開発する。
  
- (3) 環境経営格付の活動を通じて、企業との対話を重ねていくこと。
  - 環境経営学会と企業経営者間の、双方向のダイアログの実施を図る。
  
- (4) 実施した環境経営格付評価の結果を、広く公表していくこと。
  - 持続可能な社会形成のための、環境経営格付に参加した企業と、社会や多様なステークホルダー間の橋渡し役となる。



# 3年間の格付による知見

## ● 格付評価の基本構造

- ・ 持続可能性の評価を所謂トリプルボトムラインで押さえることについての基本的な合意、納得が得られた
- ・ しかしながら経済面・財務面の評価については、この面での格付を担う社会システムが既に成立し稼働していることから、環境経営格付としては独自に行なう社会的意義があるとは考えられない
- ・ こうしたことから、環境経営格付については、経済・財務面を評価するのではなく、**経営に対する社会的信頼性を問う**ことに集中することが妥当であろうという結論

## ● 格付評価の担うべき方向性

- ・ 環境経営がスタートした段階では、組織・企業の**環境面の対応を専ら問う**ということが狙いであり、社会的役割と考えられていたが、環境対策が終局的に持続可能な社会の実現に向けた人類の努力の方向であることから、

環境経営 → CSR経営 → 持続（的発展）可能経営

と**言いつつ**発展の方向に進むことが妥当と考えられる  
Japan, 25/03/2005